

<p>産業宣教: OMC時代の伝道者の生活の一心、全心、持続 (21)「世界産業宣教」(ロマ16:1-27)</p>	<p>聖日1講: もし福音を宣べ伝えなかったなら、私はわざわいだ (I コリント9:16)</p>	<p>聖日2講: 勝利の確信 (I コリント10:13)</p>	<p>伝道学: 伝道者の生活の一心、全心、持続 (21)「伝道者の3つの今日」(使2:46-47)</p>
<p>1. 神様の基本恵み 1) 永遠のミッション (1) 根本 (2) 基本 (3) 挑戦 2) 10の改革 3) 10の革新 (1) 唯一性の祝福 (2) サミットの祝福 (3) 伝道弟子の祝福</p> <p>2. 初代教会の産業人、重職者、レムナント、教役者の挑戦 1) 最適のもの 2) 最善のもの 3) 最高のもの</p> <p>3. 世界産業宣教の方法 1) 裏面契約 2) ロマ16:17-20 3) ロマ16:25-27</p>	<p>* 序論 ▲福音を伝えなければ、私はわざわいだ。これは、災難を言う。最も大きい災難は、みなさんが救われた者の祝福を知らないことだ。みなさんがどれだけ価値あるかを事実には知らずにいるのだ。これに分かる1人のために多くの証拠が起きた。みなさん1人が多くの災難をなくせる。今日、みなさんの価値を発見できる貴重な日になることを希望する。神様があなたをたは世の光だ、それで、起きてその光を放ちなさい。救われた者に聖霊がともにおられるという事実を知ることになった。みなさんが祈る時ごとに、天の門が開いて主の御使いを送って、答えの門を開かれるということを知ることになったとすれば、心配することがない。みなさんが行く所ごとに暗やみが纏られて、サタンが縛られたらすばらしいのだ。 ▲必ず3つの災いからは抜け出さなければならぬ。 1.福音を知らなくて起きる災い 1)イスラエルが7回、災いを受けた-奴隷出3:18,モーセ、ペリシテ(サムエル、ダビデ)、捕虜(イザヤ7:14)、属国(マタイ16:16),2000年きまよい-福音だけ正しく知れば終わる。伝道も福音だけ分かれれば終わる。私がかれからどのように生きなければならぬかも、福音だけ正しく知れば、神様が私たちと永遠にともにおられると言われた。まことの福音を持って、まことの教会らしくならなければならない。 2)タイ、ロシア、ヨーロッパ-正確な福音が宣べ伝えられたことがない。霊的にはみななくなってしまうのだ。それとともに、すべての学生たちが麻薬にみな陥っていきつつある。全世界がそのように陥っていきつつある。 ▲本当に私と教会が福音を惜ってしまえば、すべての災難、すべての災いはみな崩れるのだ。 2.福音を伝えなくて起きる災い 1)創世記3章、創世記6章、創世記11章の問題は今でも続いている。 2)使徒13章、16章、19章、文化に変わってしまった。 3)だから何の誤りもないの二人間はずっと問題がくる(未信者6つの状態) 3.これから迫る未来の災い 1)マタイ24-25章に出てくる災い。しかし、すべての民族に福音が宣べ伝えられた後に終わりが来る。教会のにも羊とヤギがいて、タラントを受けたのに、埋めておいて死ぬ者もいる。 2)II テモテ3:1-13、最後のときに苦しみ時がくる。 3)黙示1:3(黙示12:1-9)最後のとき、霊的な混乱時代がくるだろう。しかし、このみことばを読む者、聞く者、守る者は幸いである。 * 結論 ▲この福音を伝えなければ災いだ。それで、全世界にこの福音を伝えるべきなのに、みなさんがこの福音だけ持っているだけでも、勝利するようになる。今日、本当に福音を持って味わっているかを点検しなければならぬ。福音を自分の基準、肉体的基準、世の中の基準、私の基準で知るのではなく、神様の基準で福音を分かなければならない。今日、みなさんが最も基本的な質問するように願う。「私が本当に福音を持っているのか」それで終わらせた。今日、福音を回復する最も良い祝福の日になることをイエス様の御名で祈ります。</p>	<p>* 序論 ▲みなさんに確信がなければ一番最初にサタンにやられる(ペテロ5:7-8)。みなさんが先にすべきことがある。 1)深い時間-力、答え、幸せ→これがまことの祈り ▲一人で深い時間を持って力を得なければならぬ。力を得れば、ここで答えも得ることができる。そうすれば、ここでまことの幸せを得ることができる。 2)環境-上の力を持って現場で、学校で、事業の場に行くのだ。そうすれば、いよいよ変化させることを「御国」と言う。 3)25時-継続するならば、私を越えるようになる。25時この時から奇跡が起きる。 ▲このようになるとき、私たちには重要な答えがくるが、いくつかの確信を持って行かなければならぬ。 1.救われた者にくださったことに対する確信 1)救いの確信-私は神の子もだ。 (1)エペソ1:3-5、創造の前に私とみなさんを救われた (2)ヨハネ5:11-13、キリストを知って信じる者は救われた。 2)祈りの答えの確信-必ず祈りの答えがくる。 (1)ヨハネ14:14、わたしの名で何でも求めなさい。 (2)ヨハネ15:16、何でも求めなさい。 (3)ヨハネ5:14、神様のみこころならば何でも求めなさい。 3)罪のゆるしの確信 (1)マルコ10:45、すべての呪いを十字架に釘づけられた。 (2)ヨハネ1:9、みなさんのすべての罪をゆるされる。 4)導きの確信 (1)箴言3:5-6、あなたのする事を主にゆだねなさい。そうすれば、主があなたの道を導かれる。 (2)マタイ28:20、わたしが世の終わりまでいつもともに... 5)勝利の確信 (1)コリント10:13、必ず勝利、避ける道も与えられる。 2.伝道者の確信だ 1)マタ28:16-20、あなたがたは行って、すべての国の人々を弟子とせなさい。 マルコ16:15-20、使徒1:、地の果てまで行きなさい。証人になる! 2)救われた者に与えられた祝福に対する確信(7つの祝福) ▲聖霊内住、聖霊導き、聖霊の満たし、聖霊の働き(答え)、暗やみ縛り、主の御使い、多民族に行って弟子とせなさい。 3)伝道者にくださった権威(12種類-行く所ごとに創世記3章、6章、11章が崩れて、使徒13章、16章、19章が解決されて、個人が減る6つの状態から解放される権威) 3.強固な土台10種類を確信しなければならぬ。 1)歴代29:10-14、神様の主権 2)エペソ1:1-13、神様の方法-キリスト 3)使徒1:8、神様の力-聖霊 4)II テモテ3:14-17、確実な保証書-聖書のみことば 5)コリント3:16、私-神様の神殿-聖霊内住 6)使徒18:1-4.私がいるすべての現場が宣教地 7)詩139:1-9、生死災い祝福の管理者 8)ヘブル9:27、時間付き人生 9)ルカ16:19-31、来世(地獄と天国) 10)マタイ10:40-42、伝道者のむくい * 結論-本当に祈りの答えを受けようとするなら 1)基準を変えなさい-神様の基準、計画(使徒1:1、キリスト一心) 2)刻印されたことを変えなさい-神の国(使徒1:3、全心) 3)力を変えなさい(使徒1:8、持続)</p>	<p>1. マルコの屋の上の間で味わった3つの今日 (基本ミッション) 1) 使2:1-13 2) 使2:14-21 3) 使2:41-47</p> <p>2. 現場の3つの今日 (挑戦ミッション) 1) 使13:1-4、16:1-10、19:1-7 2) 使10:9、15、11:25-26、16:31 3) 使13:48、16:14、16:32-40</p> <p>3. 未来の3つの今日 1) 使2:17-18 2) 使19:21 3) ロマ16:25-27</p>
<p>地域(区域)教材: 状況以前そして以後(詩3:1-8)</p>			
<p>▲神様の性格に「永遠な神様」という性格があります。永遠ということ、変わることはないということです。この永遠で変わることがない神様には、一つの目的、計画、仕事があります。それはたましいの救いの働きです。また、救われた者に置かれた神様の変わりない目的、計画、仕事は、救いの神様ご集中するようにさせることです。私たちは偶像崇拜をする未信者と完全に違います。神様は、私たちにいのちをくださった(ヨハネ5:24、エペソ2:1)罪とのりから私たちが解放させてくださいました(ローマ8:1-2)。したがって、私たちは私たちが救われた神様ご集中しなければなりません。</p> <p>1.現実の状況 (1)本文の詩篇3編は、ダビデがその息子アブシャロムが反乱を起こした時の状況を詩で書いたものです。息子が裏切ったので、ダビデの人生が一番難しい状況であるかもしれません。 (2)ダビデはこういう状況の中で、むしろ自分の人生全体を置いて大きい答えを見ました。「救いは主にあります。あなたの祝福があなたの民の上にありますように。」(詩38)ここでダビデは自分に敵対する敵が多くて、自分が笑いの種になって、自分を千万人が取り囲むとしても、自分に神様がくださる祝福があることを分かりました。ダビデが難しい状況でなく、自分を救われた神様ご集中したのです。 (3)私たちは現実を正確に見るべきです。ダビデは、ひとまず神様を信じない者が多いということを知りました。神様の救いを価値が無く思っている者が多いということを知りました。私たちが同じように現実状況をこのように理解しなければなりません。 2.ダビデの普段の時の状態(状況以前) (1)詩篇33-51には、ダビデの普段の時の霊的な状態が出ています。ダビデは、突然、問題がきたので神様を挫いたのでありません。彼は難しい状況にあう前、普段の時いつも神様を信じていました。彼いつも力があつたということです。 (2)聖徒の中には、突然、試みにあつたという人がいるのですが、突然そうなのではありません。ある瞬間に試みに陥るしかない霊的狀態をずっと持っていたので、今、試みにあつたのです。それで、私たちの普段の時の霊的狀態が重要です。 (3)ダビデのように、普段の時主なる神様ご集中するみなさんになるように願います(詩54:19:1-3)。神様を見上げて、神様を愛して、神様ご関心を持つように願います。 3.状況に対する信仰(状況以後) (1)詩篇36-81には困難にあつた状況以後に、ダビデが告白した信仰が出ています。ここでダビデは、神様がすでにすべての問題を終わらせたことを分かりました。自分が神様の完全な救いを持っていることを分かつたためです。私たちが神様ご福音の中で完成された祝福を持って最後まで行かなければなりません。 (2)イエス様が「完了した」と言われ、十字架で死なれ(ヨハネ19:30)死者の中から復活されました(マタイ28:5-6)。このイエス・キリストを信じることによって、私たちが死からいのちに移されました(ヨハネ5:24)。 (3)また、私たちの人生のすべての問題をみな合わせて罪と言います。ところで、私たちはイエス・キリストの中で罪のゆるしを受けました(コリサイ1:13-14)。罪のゆるしを受けたこととは、すなわちすべての問題を解決されたということです。私たちが、この祝福を持って最後まで行かなければなりません。 * 結論 ▲最後に私たちが最高の条件を持って生きていく人々です。その最高の条件は「救われた神の子ども」ということです。これが世の中で最も良い条件です。この最高の条件を持って、いまは霊的裕福を最高に味わうことに挑戦してください。そうすれば、私の周辺の他の人まで福音の中で生かす答えを受けるようになるでしょう。</p>			

週間メッセージの流れ (2014.6.1.-2014.6.7.)

(1) 聖日1部(6月1日)→召されたときの状態にとどまっていなさい (Iコリント7:17-25)

神様が与えられるまことの答えの中で、未信者より劣る人生でない、まことの祝福の証人となるようにしてください。感謝します。今、私の自我、世の中の基準、肉の基準を捨てて、神様の基準に変えて、福音の力を味わえますように。私に与えられたどんな状況、問題、事件の中でも、必ず神様の祝福された計画があることを信じて体験することができますように。どんな絶望、どんな危機、どんな葛藤の中でも、神様の祝福の門を見ながら、召されたときの状態にとどまっていることができますように。この祈りの力を持って、どこでも勝利するようにさせてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

(2) 聖日2部(6月1日)→偶像とささげた肉 (Iコリント8:1-13)

サタンの働きによってくるしかない霊的問題、災い時代を防ぐように、契約を握って祈るようにさせてくださったことを感謝します。黙想と定刻祈り、深い祈り、24時祈り、25時祈りの奥義を持って、実際に聖霊の働きを体験することができますように。教会回復の契約を握って、この時代に偶像を超越する神殿建築を味わう主役になりますように。霊性訓練、専門性訓練、インターンシップ訓練を持って世界を生かす福音エリートを育てるRUTCを立てるようにさせてください。次世代に必ず契約を刻印させて、勝利するようにさせてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

(3) 伝道企画チーム(6月1日)→地域(区域)教材22課:五旬節の答え(使徒2:1-47)

▲聖書の最高の約束-三つの祭り(逾越祭-救い、収穫祭-天国、五旬節-神様の力)、この約束がマルコの屋上の間で成就したのだ。今できるのが五旬節だ。

- ①聖霊の満たしをよく知らなければ信仰生活するのにどんどん反対側にすることがある。
- ②聖霊の満たしを受ければ5つの時刻表がくる-使徒2:1、使徒2:5、使徒2:17-18、使徒2:41、使徒2:46-47
- ③聖霊に満たされれば5つの力が出てくる-風/炎のような働き、14ヶ国の門、みこば成就、3千弟子(復興)、経済(献金)
- ④結論-この祝福の中に入ろうとするなら、いくつかのことを記憶しなさい-キリスト、神の国、霊的力、私のこと(ガラテヤ2:20)、私の祈り(25時)、私の方法(永遠)、大きい祈りの課題-今日すること(今日の段階)

(4) 海外使命者(6月1日)→伝道成功の隠れたこと

▲人に会った時は計画がなければならぬ。

- ①まず私が続けて答えを受ける更新がなければならぬ-私の動機、私の水準、私の基準、私の有益、私の計算、私の主張を捨ててピリピ3:1-21をしなさい。
- ②先に立つこと(困難、危機、問題がくるときに先に立ちなさい)、譲歩すること(利益、地位、主張はしてはならない)、見つけること(使徒9:10、アナニヤ-パウロ)
- ③すること(使徒13:1-4、使徒16:6-10、使徒19:1-7、聖霊の導きと聖霊の満たし)、しないこと(ごり押し主張、たかぶらないこと(使徒19:21))
- ④すべての迫害、問題、困難は転換点だ。

(5) テキコ(6月1日)→開始(使徒1:1)

- ①事業、学業、伝道もいつでも唯一性を探さなければならぬ(タラッパン)、出会い(チームの働き)、生活(ミッションホーム)、職業(専門の働き)、関係(地教会)→福音化
- ②だれかに手伝いをさせられたり、指示されたり、仕事を頼まれた時は、はやく高さ、深く、広さを見て情報(インターンシップ)を持ってしなければならぬ→専門化
- ③これを持って他の人を生かすのだ(自分が会った人のすべての情報を記録、管理、献身しなさい)→個人化

(6) シカゴ伝道集会(6月4日)→伝道弟子の一心、全心、持続

▲1講:伝道弟子の一心(使徒1:1-使徒1:14)

- ①基準を変えた人々-マルコの屋上の間、Iサムエル16:12-13、Iサムエル16:23、使徒4:33-37
- ②力を変えた人々-その日(聖霊の働き)、そこで(地教会)、その理由(必要)
- ③未来を変えた人々-結論(結果)を知っている人、災い時代防ぐ証人、ローマ16:25-27

④結論-すべての困難は土台だ。すべての答えは付いてくるようになっていて、ローマ16:20サタンが踏み碎かれるようになる。

▲2講:伝道弟子の全心(使徒1:3-使徒1:14)

①序論-神の国のことを40日間説明したということは、私たちがどこに全心しなければならぬかを言うのだ。12の人生問題(創世記3章、6章、11章、使徒13章、16章、19章、個人の災い6つ-未信者6つの状態)、時代の災い(黙示12:1-9)-サタンの働き(IIコリント4:4、ヨハネ16:11-14)→Iヨハネ3:8神の子が来られたのは悪魔のしわざを打ちこわすため。勝った戦いをするのが福音運動だ。ところで、なぜだめなのか。傷、押さえられること、霊的問題のためだ。

②神様が私たちの運命を完全に変える天命

③神様が私たちにくださった使命

④神様が私にくださった召命

⑤結論-天国の背景(天の軍勢、御使い)を持ってサタンを打ち砕いて、運命を防いで、災難を防いで、弱い私が神様のお手伝いをするのだ。

▲3講:伝道弟子の持続(使徒1:8-使徒1:14)

①序論-霊的戦い(エペソ6:13)、権威(キリスト、大使)、待ちなさい(祈りを味わうこと、使徒1:1,3,8,14-力、証拠、証人)

②自分に証拠(無能解決)-カルバリ山、オリブ山、マルコの屋上の間

③教会の証人(使命)-使徒2:1-47、使徒3:1、使徒6:7、使徒11:19

④時代のいやし-使徒13:1-4、使徒16:15-20、使徒19:1-7、使徒19:8-20、使徒23:21ローマイやし

⑤結論-祈り(24時、25時、永遠)、伝達(主の御使い)、レムナント

(7) 産業宣教(6月7日)→伝道者の生活一心、全心、持続(21)-世界産業宣教(ローマ16:1-27)

▲教会が産業をしてもだめで、産業者が教会を利用してだめだ。聖霊の導きを完ぺきに受けなければならぬのが産業宣教だ。聖霊の導きを完ぺきに受けた人々が集まったのがローマ16章だ。ローマ16章の人々は-

①ただ福音を持った人々がOnenessになったのだ-永遠な根本ミッション+改革+革新

②ただ伝道だけが生きる道ということを知っている人々のOnenessだ-神様は最適、最善、最高のことをくださって味わうようになる。

③ただ聖霊でOnenessになった人々が集まったのが産業宣教だ-みなさんだけが味わえる裏面契約+ローマ16:17-20の働き+ローマ16:25-27の答えをくださる。

④結論-Onenessになったとき、福音の力をくださって奇跡の働きと勝利をくださる。

(8) 伝道学(6月7日)→伝道者の3つの今日(使徒2:46-47)

①重職者-重職者の隠れた毎日 ②地域伝道集中訓練-現場にある隠れた毎日

(9) 核心訓練(6月7日)→伝道者の人生一心、全心、持続(21)-世界を生かす伝道(使徒1:3)

▲ユダヤ人に臨んだ7回の災い(奴隷-出3:18、ペリシテ-契約の箱、アラム-エリシャ、アッシリヤ捕虜、バビロン捕囚-イザヤ7:14、ローマ属国-使徒1:8、2000年間次世代苦難)+文化の中で入り込んだ暗やみ文化(創世記3章、6章、11章、使徒13章、16章、19章)+個人のたましいの中に入り込む3団体(個人のたましい-ヨハネ8:44、偶像文化-出20:1-5、精神/心の病氣、肉体-使徒8:4-8、子ども伝達-マタイ27:25、地獄背景-ルカ16:19-31)

①使徒1:1、キリスト→一心(基準を変えなさい-私、肉体、世の中、サタン)

②使徒1:3、神の国→全心(刻印を変えるのだ)

③使徒1:8、世界福音化→持続(革新をするのだ)

④結論-今日から定刻祈りを安らかな時間に始めて、力、答え、幸せが出てくるように深い祈りに入りなさい。すべての場所、現場でこれを味わいなさい。そして、状況によって姿勢を別にすれば良い。神様の奇跡、25時、永遠な力が私のものにならなければならぬ→エレミヤ33:1-3神様に向かって、切実に、祈り!恐れるなわたいがあなたとともにいる。

(10) 地域(区域)教材(6月7日)→23課:状況以前そして以後(詩3:1-8)